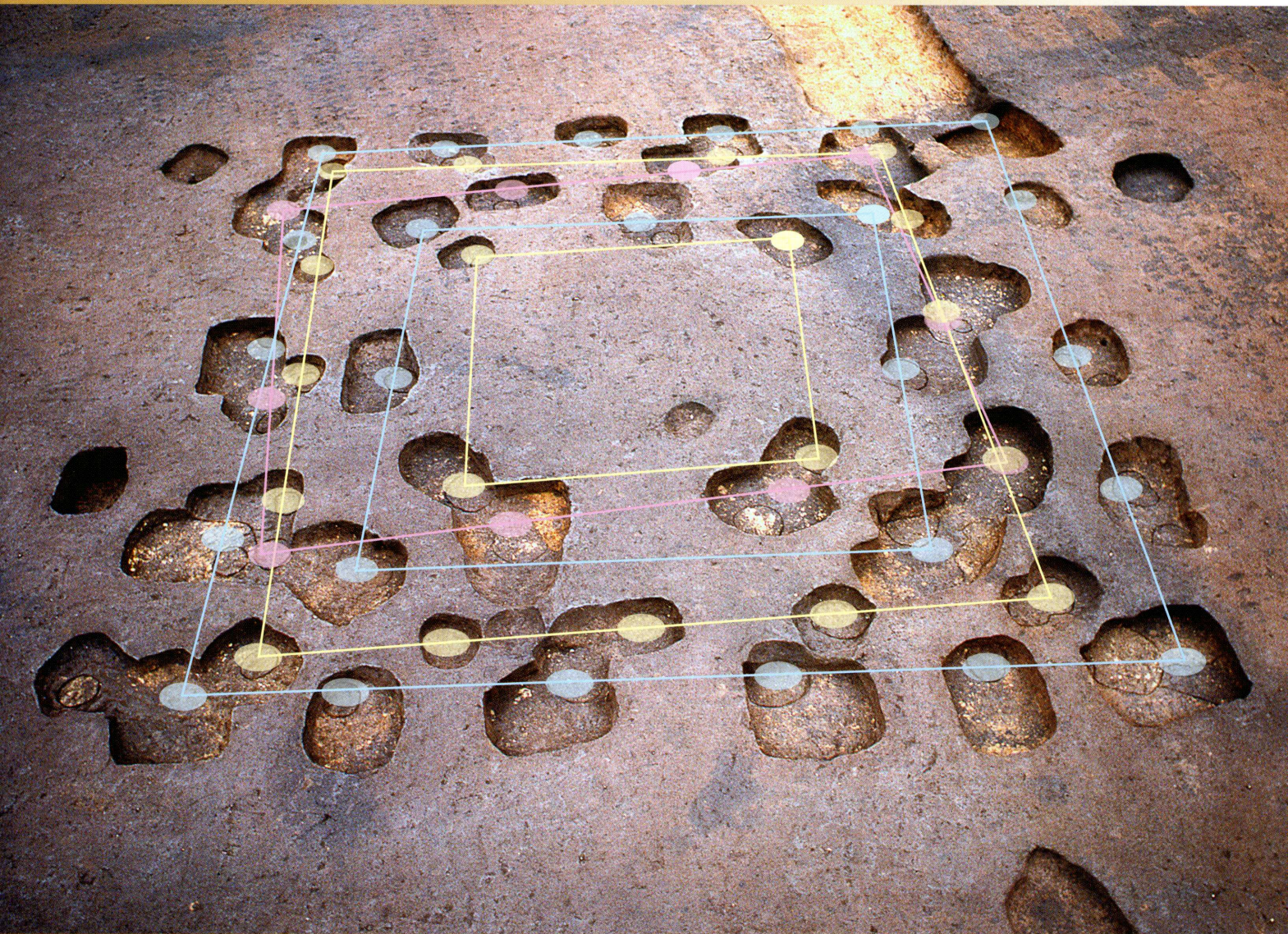


埋文よこはま28

- ・古代都筑郡の遺跡
- ・横浜の遺跡展開催予告
- ・展示室リニューアル
- ・催し物案内



権田原遺跡の「村落内寺院」の仏堂跡（昭和62～64年発掘） 赤→黄→青の順に建て替えられた。建物最大幅8.7m。9世紀。

古代都筑郡の遺跡

—都筑区北川谷遺跡群から
古代の「郷」を考える—

都筑区に所在する「北川谷遺跡群」は、港北ニュータウンの東端に位置し、権田原遺跡・北川表の上遺跡・北川貝塚・大原遺跡など多くの遺跡が密集しています。ここは弥生時代中期から古墳時代前期にかけて長期にわたって集落が継続したことで著名ですが、奈良・平安時代にも多くの竪穴住居・掘立柱建物群が密集し、早瀬川流域の一大拠点であったことが分かります。

埋蔵文化財センターでは、平成22年度から権田原遺跡の整理作業をスタートさせ、今年度（平成25年度）は第1弾として、奈良・平安時代編を刊行する予定です。本号では、報告書刊行と関連して、権田原遺跡を中心とする北川谷遺跡群の調査成果から、古代武蔵国都筑郡の実態に迫ります。

→次頁へつづく



古代都筑郡北東部の主要遺跡と古代道

国土地理院所蔵 二万分の一迅速測図（明治14年）に加筆

1 / 50,000

※おおよその位置が分かるように現代の鉄道・高速道路も掲載しています。

◆古代武蔵国都筑郡と北川谷遺跡群

横浜市の北西部、青葉区・都筑区・緑区を中心とする地域は、古代律令制下の国郡制では「武蔵国」の「都筑郡」に該当します。郡の役所である「都筑郡家」（長者原遺跡）は現在の青葉区荏田地域に置かれ、水陸交通の要衝の地を占めています。平安時代の『和名類聚抄』には、都筑郡下の郷として余戸・店屋・駅家・立野・針研・高幡・幡屋などの郷名が記されていますが、地名から店屋が町田市鶴間町谷、針研が横浜市緑区西八朔町・北八朔町の周辺に比定される他は文献からはわかりません。しかし、都筑区の北川谷遺跡群や藪根不動原遺跡など、発掘調査で明らかにされた拠点集落が、こうした「郷」の中心地である可能性が大きいといえるでしょう。

権田原遺跡報告書刊行を記念して、古代都筑郡に関連した展示・講演会を行います。
→詳しくは次項の「催し物」案内をご覧ください！



展示室、リニューアルしました！

埋蔵文化財センターに展示室があるのをご存知ですか？ 1 教室分のスペースを使って、発掘された遺跡・遺物から横浜の歴史を紹介している部屋です。今年4月に大々的にリニューアルし、展示品も解説パネルもパワーアップ！ 事前に申し込んでいただくことで、展示解説も行っています。ぜひ、横浜の考古学に触れて来てください！！



催し物ご案内

○展示 平成25年度「横浜の遺跡展」

古代都筑郡の考古学

—北川谷遺跡群から「郷」を考える—

展示品 横浜市北部・古代都筑郡域の奈良・平安時代の
土師器・須恵器・灰釉陶器・金属製品など

◇会期：12月7日(土)～1月13日(月・祝)

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室

◇観覧料：無料 ※市指定・登録文化財展と同時開催

関連イベント

・講演会「古代武蔵・相模の考古学—拠点集落と地域支配—」

展示に関連して、講演会を催します。

講師：田尾誠敏(東海大学講師)

根本 靖(所沢市立埋蔵文化財調査センター)

古屋紀之(公財横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター)

◇日時：1月12日(日) 13:00～16:00 (12:30開場)

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂 ◇定員：150名

◇費用：500円(資料代)

◇申込：往復はがきに講演会名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号記入の上、右下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：12月20日(金)必着

・フロアレクチャー(調査研究員による展示解説)

◇日時：12月14日(土)11:00～、14:00～

1月12日(日)11:00～ 各回40分程度

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室

◇費用：無料 ◇定員：先着30名

○歴史散策 證菩提寺周辺をたずねて

◇日時：11月22日(金)9:00～16:00 ※長距離歩きます

◇見学場所：松ヶ崎横穴墓群・子ノ神日枝神社・本郷ふじや
ま公園(昼食)・證菩提寺・上郷深田遺跡

◇集合：JR港南台駅 ◇定員20名(抽選)

◇費用：1人500円(資料代・保険料)バス代・昼食各自用意

◇申込：体験学習・体験発掘に同じ 右記事参照→

◇応募期間 10月15日(火)～11月15日(金)

埋蔵文化財センターのご案内

JR根岸線「港南台」駅

2番バス乗り場より神奈中バス港36・86系統「上郷ネオポリス」行き、または港40系統「栄プール」行き、「上郷ネオポリス」下車 徒歩1分

京浜急行「金沢八景」駅

国道沿い1番乗り場より神奈中バス金24・25系統「上郷ネオポリス」行き、終点「上郷ネオポリス」下車 徒歩1分

・見学等の施設利用は、平日の9～17時となっています(受付16時まで)。

・施設利用にあたっては、事前にご連絡ください。

○講座 平成25年度「横浜の考古学」

他地方との交流・交易

縄文から古代まで、土器や鉄器・装飾品などから、横浜と他地方との交流・交易について考えます。

11月8日(金) 縄文時代

1. 縄文時代の交易—装飾品・石材・貝製品など— 山田光洋

2. 土器と集団 石井 寛

11月15日(金) 弥生時代～古代

3. 弥生時代の鉄器・玉類をめぐって 古屋紀之

4. 埴輪と土器から見た集団関係 鈴木重信

◇日時：11月8日・15日(金) 2日間全4回

13:30～16:00 (13:00開場)

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂

◇定員：150名(2日とも参加できる方)

◇費用：1,000円(資料代)

◇申込：往復はがきに講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号記入の上、下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：11月1日(金)必着

○体験学習

◇日時：第8回(10/26) 縄文土器パズルづくりと拓本とり

第9回(12/21)・第10回(2/22) 楽しい勾玉づくり

いずれも土曜日、9:30～12:00

◇対象：小学生以上 ◇費用：400円(材料費・保険料)

◇定員：第8回10名、第9・10回15名(抽選)

○体験発掘

◇日時：10月19・20日(土・日)全2日 9:30～16:00

◇対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

◇費用：1人500円(資料代・保険料) ◇定員10名(抽選)

体験学習・体験発掘どちらも

◇会場：埋蔵文化財センター

◇申込：FAXか往復はがきにて、体験学習名(回)・住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号を記入の上、下の埋蔵文化財センターへ。必ず「埋文よこはま」を見て知った旨を明記してください。

◇応募期間：開催月前月の15日～開催月の15日

「埋文よこはま」は横浜市域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

埋文よこはま28

発行日 2013年9月18日

編集・発行 公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団
埋蔵文化財センター

〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1

TEL. 045-890-1155

FAX. 045-891-1551